



ホームページアドレス <https://www.kobe-c.ed.jp/nsn-es>

令和5年度全国学力学習状況調査の結果について

全国の小学6年生を対象として、4月18日に実施した上記の調査について、得られた結果を分析した内容を、以下のようにお伝えします。日々の取組が結果として表れつつあると同時に、新たな課題も浮かび上がってきています。職員一同結果を受け止め、さらに学習内容の改善に努めます。ご家庭におかれましても、今後一層のご協力をお願いします。

国語

「話すこと・聞くこと」「読むこと」に関して、全体的にはどれも概ね良好な結果が出ています。しかし、「書くこと」と「言語の特徴や使い方に関する事項」のなかで、下記の問いが難しかったようです。

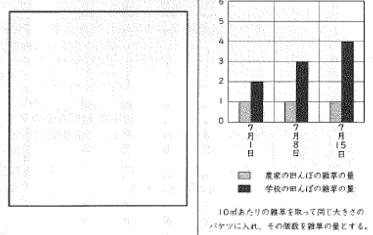
【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼにええを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、いかに雑草が増えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとくらべてみました。うきかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。



このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしょうかくすることができました。

川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の1問と2問の条件に合うように書いて書きました。あなたも川村さんなら、学校の米作りに取り組む内容を

【カード①】

6月24日
・思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。
・このまま雑草が増えたら米のしょうかくにえいさをするのではないかと心配だ。

【カード②】

6月30日
・雑草取りをしているが、農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えてきた。
・どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。
・調査方法 週に1回、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量をくらべる。
・調査さん 7月1日～15日

【カード③】

7月19日
・学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが追いついていないと考えられる。
・雑草の量と米のしょうかくの関係について農家の石山さんに話を聞きに行く。

【カード④】

7月20日
【農家の石山さんのお話】
・雑草に栄養をとられると、米のしょうかくが減る。
・雑草が多いと、いねが病気になることがある。
・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

【カード⑤】

7月21日
【学校でできる解決方法】
・雑草取りの回数を増やす。
・雑草取りの人数を増やす。

1 川村さんは、学校の田んぼで取り組んだ米作りについて文章を書こうとしています。次は、「川村さんの考え」と川村さんが選んだ「カード①」から「カード⑤」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【川村さんの考え】

雑草が増える問題が起きたけれど解決してよかったな。米作りのときに記録していたカードの中から選んだカードをもとに、米作りに興味のある人に向けて問題点とその解決方法を書こう。

川村さん

【正答例】

グラフから分かるように、学校の田んぼでは雑草が増え続けていたため、雑草に栄養を取られてしょうかくが減ってしまうかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。(100字)

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。どちらうで行を変えないで、続けて書きましょう。

〈条件〉

○学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ（農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量）と「カード④」のそれぞれから分かることを書くこと。

○問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書くこと。

○六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

1 二は、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかをみる問題です。「グラフから分かること」「カード④から分かること」といった条件を満たしていない解答が多く見られました。また、無回答率も他の問題に比べ高い数値でした。

改善点

・「書くこと」に、今以上に慣れる必要性を感じています。そのため、学習の振り返り等で書く時間を今まで以上に増やしていきます。その際、条件を提示し、「資料から分かること」や「～の言葉を使って」といった条件を示し、それに合うように書く機会も設けていきます。

三谷さんは学習をふり返り、インタビューをするときの敬語の使い方について、ノートにまとめています。次の「谷さんのノートの一部」の「ア」と「イ」に入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【谷さんのノートの一部】

聞きのがしたことを相手に確かめるとき
○ ○ さんが
ア
ことを、もう一度
イ
いいですか。

1 ア かつしやつた

2 ア 申した

3 ア おつしやつた

4 ア 申した

イ うかがって

イ お聞きになつて

イ お聞きになつて

イ うかがつて

三は、日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる問題です。
正答に続いて、3と解答している子が多くいました。

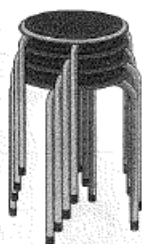
改善点

- ・敬語を意識して使う機会を増やしていきます。
- ・敬語のプリント等を用意し、復習します。

算数

「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」のどの領域も概ね良好な結果が出ています。ですが、「思考・判断・表現」の分野で式や言葉を使って答える記述式の問題にやや課題が見られました。

(3) いす4きやくの重さをはかると、7 kgでした。
このいす48きやくの重さは、何kgですか。
求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、
答えも書きましょう。



【正答例】

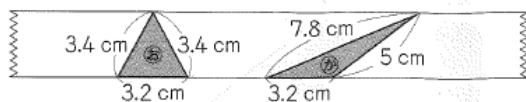
いすの数は、 $48 \div 4 = 12$ で、12倍になります。いすの数が12倍になると重さも12倍になるので、48脚のときの重さは、 $7 \times 12 = 84$ で、84 kgです。

伴って変わる二つの数量の関係が比例の関係であることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかを見る問題です。 7×48 として解く子や、1脚当たりの重さを求め、それを用いて、48脚の時の重さを求める式や言葉で解答する子が多くいました。

改善点

・「まず、自分で問題を解く」時間を十分に確保したうえで、友達に言葉や図などを用いて、考え方を説明する「学び合い」の時間を設け、より深く理解できるように支援していきます。

- (4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊸と㊹の2つの三角形をつくります。



上の㊸と㊹の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。

下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊸の面積のほうが大きい。
- 2 ㊹の面積のほうが大きい。
- 3 ㊸と㊹の面積は等しい。**
- 4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

【正答例】

三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求めることができます。㊸と㊹の高さは、テープのはばがどこも同じ長さなので等しいです。だから、㊸と㊹の面積は等しいです。

高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題です。底辺の長さは等しいと捉えられているものの、底辺以外の一边を高さとしたり、高さに具体的な数が示されていないから比べられないとしたりする子が多く見られました。

改善点

- ・授業で知り得た知識を活用し、試行錯誤しながら、応用問題に向き合う時間を今まで以上に多く設けていきます。
- ・学習内容を普段の生活と結びつけて考えるような課題を設定し、机上の学習だけでとどまらないようにしていきます。

児童質問紙

全国学力状況調査においては、学力と子供たちの生活習慣や学習環境との関連を見るための質問事項があります。その中で本校の児童の特徴的な項目についてお知らせします。

○良好な傾向が見られた項目

- ・自分にはよいところがあると思いますか。
- ・人が困っている時は、進んで助けていますか。
- ・5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。
- ・国語（算数・英語）の勉強は大切だと思いますか。

●やや課題が見られた項目

- ・学校の授業以外に、普段（月～金）1日当たりどれぐらいの時間、読書をしますか。（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。）
- ・5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。
- ・あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていますか。

自分のよさを感じ、周りの人を大切にしようとする思いの強さをすばらしく感じています。今後も大切に育みたい一面です。学習面では、それぞれの教科を大切に思い、一生懸命に学習に取り組む姿勢が感じられます。また、道徳での話し合い活動や工夫ある発表の機会を大切に、よりよい伝え方を考えたり解決方法を求めたりする活動の成果が表れています。今後も、自分の考えをより一層分かりやすく伝えるための指導を続けていきます。

改善点としては、予習や復習のほか、学習のふりかえりの交流やパワーポイント等を用いた発表の場を今まで以上に増やし、授業のなかでICTを活用する機会を増やしていきます。また、読書の楽しさを味わえるよう司書教諭によるブックトークの場を設け、様々なジャンルの本と巡り合える機会を設けていきます。学級会については、話し合い活動を増やし、子供たち主体で互いを認め合いながら課題解決に向けて活動できるよう支援していきます。